

アメリカ合衆国対日政策文書集成 フォード政権期文書 刊行計画

フォード大統領文書Ⅰ 日米関係

第38期	田中角榮・フォード首脳会談関係文書ほか	(全10巻) 総2956頁・揃本体300,000円+税
第39期	国家安全保障会議機構文書・日本関係ほか	(全10巻) 総2260頁・揃本体300,000円+税
第40期	国家安全保障会議 東アジア・太平洋地域担当日本関係文書ほか	(全10巻) 総2554頁・揃本体300,000円+税

フォード大統領文書Ⅱ 米中関係

第41期	フォード、キッシンジャー訪中関係文書ほか	(全10巻) 総2292頁・揃本体300,000円+税
第42期	首脳・要人会談録、国家安全保障会議機構文書ほか	(全10巻) 総2990頁・揃本体300,000円+税
第43期	国家安全保障会議 東アジア・太平洋地域担当日本関係文書ほか	(全10巻) 総3152頁・揃本体300,000円+税

フォード大統領文書Ⅲ 米韓関係

第44期	首脳・要人会談録、国家安全保障会議機構文書ほか	(全10巻) 総2936頁・揃本体300,000円+税
------	-------------------------	-----------------------------

フォード大統領文書Ⅳ 主要国首脳会議(サミット)関係文書

第45期	第1回ランブイエ・サミット関係文書	(全10巻) 総2116頁・揃本体300,000円+税
第46期	第2回プエルトリコ・サミット関係文書	(全10巻) (予価) 揃本体300,000円+税 2020年5月刊行予定

アメリカ合衆国対日政策文書集成 ニクソン政権期文書(全18期完結)

ニクソン大統領文書Ⅰ 日米関係

第20期	佐藤榮作・ニクソン首脳会談関係文書ほか	(全10巻) 総2184頁・揃本体300,000円+税
第21期	佐藤政権期日本・沖縄関係ホワイトハウス文書	(全10巻) 総3152頁・揃本体300,000円+税
第22期	繊維問題・航空交渉関係ホワイトハウス文書	(全10巻) 総2560頁・揃本体300,000円+税
第23期	ピーターソン大統領補佐官繊維関係文書	(全10巻) 総2554頁・揃本体300,000円+税
第24期	キッシンジャー関係文書ほか	(全10巻) 総3454頁・揃本体300,000円+税
第25期	田中角榮・ニクソン首脳会談関係文書 田中角榮政権期ホワイトハウス文書、天皇・ニクソン会談関係文書	(全10巻) 総4310頁・揃本体300,000円+税

ニクソン大統領文書Ⅱ 米中和解

第26期	国家安全保障会議文書 1971年7月まで	(全10巻) 総2630頁・揃本体300,000円+税
第27期	国家安全保障会議文書 1971年10月まで	(全10巻) 総2576頁・揃本体300,000円+税
第28期	国家安全保障会議文書 1972年3月まで	(全10巻) 総3202頁・揃本体300,000円+税
第29期	キッシンジャー・オフィス文書 1972年3月～12月	(全10巻) 総3110頁・揃本体300,000円+税
第30期	国家安全保障会議文書 1972年3月～12月 キッシンジャー・オフィス文書 1972年3月～12月	(全10巻) 総3306頁・揃本体300,000円+税
第31期	国家安全保障会議文書 1973年1月以降 キッシンジャー・オフィス文書 1973年1月以降	(全10巻) 総3424頁・揃本体300,000円+税

ニクソン大統領文書Ⅲ 国家安全保障会議機構文書(NSSM, NSDM)

第32期	国家安全保障会議機構文書 日本・アジア関係	(全10巻) 総2900頁・揃本体300,000円+税
第33期	国家安全保障会議機構文書 中国関係	(全10巻) 総2626頁・揃本体300,000円+税
第34期	国家安全保障会議機構文書 韓国関係	(全10巻) 総2868頁・揃本体300,000円+税
第35期	国家安全保障会議機構文書 国防、核、石油危機	(全10巻) 総3090頁・揃本体300,000円+税
第36期	国家安全保障会議機構文書 年次外交報告・東西貿易・COCOM	(全10巻) 総3204頁・揃本体300,000円+税

国務省文書・ニクソン大統領図書館新規公開文書

第37期	日米外交防衛問題 1973年 ニクソン大統領図書館新規公開文書	(全10巻) 総3242頁・揃本体300,000円+税
------	------------------------------------	-----------------------------

アメリカ合衆国対日政策文書集成 沖縄返還期(全12期完結)

第8期	日米外交防衛問題 1964年 付・「極東担当国務次官補及び東アジア課主要文書」「ウィリアム・バンディ」国務次官補訪日関連文書 1964年9月27日～10月1日	(全10巻) 総3236頁・揃本体220,000円+税
第9期	日米外交防衛問題 1965年 付・1965年1月佐藤榮作首相訪米会議録	(全9巻) 総3016頁・揃本体220,000円+税
第10期	日米外交防衛問題 1966年 付・米国務長官訪日会議録	(全9巻) 総2704頁・揃本体220,000円+税
第11期	日米外交防衛問題 1967年	(全11巻) 総3902頁・揃本体250,000円+税
第12期	日米外交防衛問題 1968年	(全10巻) 総3632頁・揃本体250,000円+税
第13期	日米外交防衛問題 1969年・日本編 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 総3244頁・揃本体250,000円+税
第14期	日米外交防衛問題 1969年・沖縄編	(全10巻) 総2968頁・揃本体250,000円+税
第15期	日米外交防衛問題 1970年 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 総3684頁・揃本体250,000円+税
第16期	日米外交防衛問題 1971年・日本編 付・米国務長官訪日会議録	(全10巻) 総2840頁・揃本体250,000円+税
第17期	日米外交防衛問題 1971年・沖縄編	(全10巻) 総3196頁・揃本体250,000円+税
第18期	日米外交防衛問題 1972年・日本 政治・外交編	(全10巻) 総2914頁・揃本体250,000円+税
第19期	日米外交防衛問題 1972年・日本 防衛問題および沖縄編 補遺・尖閣諸島関連文書およびトップシークレット文書	(全10巻) 総2650頁・揃本体250,000円+税

【以上、全12期全119巻の本体価格合計は2,910,000円となります】

アメリカ合衆国対日政策文書集成 安保改定期(全7期完結)

第1期	日米外交防衛問題 1959～60年	(全9巻) 総3548頁・揃本体190,000円+税
第2期	日米経済問題 1959～60年	(全11巻) 総4604頁・揃本体250,000円+税
第3期	日本の国内事情 1960年	(全9巻) 総3392頁・揃本体210,000円+税
第4期	日米外交防衛問題 1957年	(全10巻) 総3392頁・揃本体220,000円+税
第5期	日米外交防衛問題 1958年 補遺・1960年岸信介首相訪米会議録ほか	(全8巻) 総3020頁・揃本体210,000円+税
第6期	日米外交防衛問題 1955年	(全9巻) 総2940頁・揃本体220,000円+税
第7期	日米外交防衛問題 1956年 補遺・国家安全保障会議(NSC)公式政策文書	(全10巻) 総3664頁・揃本体220,000円+税

【以上、全7期全66巻の本体価格合計は1,520,000円となります】

アメリカ合衆国対日政策文書集成 アメリカ総合参謀本部(全2期完結)

アメリカ総合参謀本部資料 1948～1953年	(全16巻) 総5108頁・揃本体480,000円+税
アメリカ総合参謀本部資料 1953～1961年	(全15巻) 総4640頁・揃本体450,000円+税

*品切れの場合、ご要望に応じてオンデマンド出版を検討させていただきますが、価格が変更となる場合もございますので、ご了承ください。

DOCUMENTS ON UNITED STATES POLICY TOWARD JAPAN

アメリカ合衆国対日政策文書集成(第45期)

フォード大統領文書

FORD PRESIDENTIAL MATERIALS

(全10巻)

Ⅳ 主要国首脳会議(サミット)

第1回ランブイエ・サミット関係文書
L・ウィリアム・シードマン文書 1974-77
NSC 国際経済関係担当文書 1975-76
大統領手書き文書 1974-77
フォード大統領外遊説明文書と電文 1974-76
大統領経済諮問委員会 1974-77

2019年
11月刊行

監修：石井修

経済の弱さから参加を渋った米国が翻意、開催にこぎつけた初めてのサミット

第1回の先進国首脳会議(サミット)はフォード政権期の1975年11月にフランスのランブイエで開催された。その背景には、金とドルの交換停止などからなる1971年夏のニクソン政権の「新経済政策」にあった。キッシンジャー大統領補佐官はサミット会議の構想を持っていたものの、ポンピドゥー仏大統領の反対で実現しなかった。74年にポンピドゥーが急死し、サミット構想を抱いていたジスカルデスタンが就任。シュミット西独首相も同様の構想を描いていたことから動き出した。米、英、仏、西独、伊に加えて日本が招かれ、三木総理は歓迎した。米国は、ドルが弱く景気回復が不十分なかでのサミット参加を渋ったが、1975年にドルは強さを取り戻した。景気回復も力強さを見せ始めた。開催1か月前の10月10日になってホワイトハウスはサミット参加を発表した。米政府上層部のサミットへの準備は大きく出遅れたが、その遅れを取り戻すべく、全力を挙げた。今期収録文書からは短時間ながらも周到な米政府の準備が見てとれる。

非公開とされたサミットだが、議事録は残されており、各国首脳の発言の詳細がわかる。

お奨め先

国際関係論 政治学・政治史 アメリカ現代史
中国現代史 アジア現代史 戦後経済史
戦後外交史 日米関係 日本現代史
大学図書館 公共図書館

◎監修 石井 修 (一橋大学名誉教授)
◎造本体裁 A4判・上製函入
全10巻・総2116頁
◎揃定価 本体300,000円+税
ISBN978-4-7601-5194-3

取 扱 店	
-------------	--

柏書房

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13
Tel.03-3830-1891 Fax.03-3830-5337
URL http://www.kashiwashobo.co.jp
E-mail eigyo@kashiwashobo.co.jp

虚々実々のサミット、ランブイエに集まった各国首脳の言動は？

THE WHITE HOUSE
WASHINGTON

MEMORANDUM OF CONVERSATION
PARTICIPANTS:

Federal Republic of Germany
Helmut Schmidt, Federal Chancellor
Hans-Dietrich Genscher, Minister of
Foreign Affairs; Vice Chancellor
Hans Apel, Minister of Finance

France
Valery Giscard d'Estaing, President of
the Republic
Jean Sauvagnargues, Minister of Foreign
Affairs
Jean Fourcade, Minister of Economy &
Finance

残されていた非公開のはずのサミットの記事録
サミットは非公開とされたが、記事録は残っていた。会議がどのように進められ、どのような首脳の発言があったか、つぶさにわかる。米国が想定していた筋書きどおりに会議が進んでいることが見てとれる。【第5巻40頁】

Trade and Monetary Issues

President Giscard: We agreed yesterday evening that today would be devoted to trade and if time was left over to monetary issues. Our Finance Ministers have been working while our Foreign Ministers have, I might say, been resting.

If agreeable, let us start with the commercial problems. Prime Minister Miki will open this discussion.

Prime Minister Miki: Yesterday Chancellor Schmidt addressed himself to trade in general terms. As Prime Minister of Japan, I would like this morning to make a few personal comments on trade.

「保護貿易の誘惑に駆られてはならない」と三木は冒頭で演説
第2議題は「貿易問題」で三木首相が座長を務めた。冒頭で、日本も含めてわれわれみな保護貿易の誘惑に駆られるが、自由貿易こそが人類の福祉に貢献すると力強く述べている。【第5巻57頁】

With respect to freer trade, our emphasis on free trade is consonant with our strong emphasis on human well-being. I would like to recommend the Tokyo Round be completed in 1977. President Giscard in Tokyo,

MEMORANDUM FOR:

FROM:

SUBJECT:

DONALD RUMSFELD
BRENT SCOWCROFT
Agenda

A specific agenda for discussion of the various participants. A draft. It is therefore difficult to say what item will be discussed. At the meeting tentatively agreed to at the Tokyo Round. If this is the case, the schedule would resemble the following.

通貨制度をめぐる対立する米仏

1975年10月25日付けラムズフェルド首席補佐官宛宛書。フランスは固定相場制を求め、米国は変動相場制を望んだ。スコウクロフト補佐官は、サミットでは通貨問題の細部に踏みこまず、担当レベルにゆだねることが望ましいと進言している。【第5巻148頁】

アメリカ合衆国対日政策文書集成 第45期(全10巻)の構成

- 【第1巻】 解題/目次/索引
- 【第2巻】 L・ウィリアム・シードマン文書 1974-77
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 1975年11月6日草稿 (1)-(2)
- 【第3巻】 L・ウィリアム・シードマン文書 1974-77
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 1975年11月6日草稿 (3)-(5)
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 東西経済関係
- 【第4巻】 L・ウィリアム・シードマン文書 1974-77
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 経済回復・協調(1)-(2)
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 エネルギー
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 国際通貨問題
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 発展途上国との関係
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 貿易(1)
- 【第5巻】 L・ウィリアム・シードマン文書 1974-77
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 貿易(2)
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 会議録と議論についての注記
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 覚書(1)-(2)
- 【第6巻】 L・ウィリアム・シードマン文書 1974-77
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 覚書(3)
国際経済サミット 1975年11月15日-17日 報告書 西欧と日本における国際経済問題についての意見
- 【第7巻】 NSC国際経済関係担当文書 1975-76
経済サミット ランブイエ (1)-(6)
- 【第8巻】 NSC国際経済関係担当文書 1975-76
経済サミット ランブイエ (7)-(10)
大統領手書き文書 1974-77
経済サミット 会合・会議
経済サミット 1975年 外遊(1)-(3)
- 【第9巻】 フォード大統領外遊説明文書と電文 1974-76
パリ経済サミット 1975年11月15日-17日 説明文書 大統領2国間首脳会議(1)-(3)
パリ経済サミット 1975年11月15日-17日 國務省 電文
パリ経済サミット 1975年11月15日-17日 一般
パリ経済サミット 1975年11月15日-17日 可能性のある2国間首脳会議(1)-(2)
パリ経済サミット 1975年11月15日-17日 スコウクロフト宛
- 【第10巻】 大統領経済諮問委員会 1974-77
国際経済サミット(パリ) 1975年11月15日-17日(2)-(6)

COUNCIL ON INTERNATIONAL ECONOMIC POLICY
WASHINGTON, D.C., 20500

October 28, 1975

SECRET

MEMORANDUM FOR THE FILES

FROM: Wayne W. Sharp
SUBJECT: Summary of EPB/NSC Review of First Drafts for Economic Summit, October 25, 1975, the Roosevelt

Participants: Seidman (Chairman), Dunlop, Dunn, Robin Parsky, Cooper, Greenspan, Malkiel, Bal Hormats, Sharp, S. Katz, Feketecky, P

I. Purpose of EPB/NSC Meeting (Seidman)

1. Discuss format of material for the President
2. Discuss substance of papers in order to highlight 1 or 2 key issues in each area

経済回復をめぐる欧米間の溝

NSCと経済政策委員会によるサミット・レビュー。米国は経済が回復していると思っているが、ヨーロッパ側は評価せず、大統領はその溝を埋める発言が必要などと指摘している。【第5巻153頁】

THE PRESIDENT HAS SEEN
THE WHITE HOUSE
WASHINGTON

November 12, 1975

MEMORANDUM FOR THE PRESIDENT

FROM: HENRY A. KISSINGER
BRENT SCOWCROFT
SUBJECT: International Economic Summit Overview

The summit is intended to permit an intimate and serious discussion by the leaders of industrialized democracies of common problems; it should convey to the peoples of the industrialized democracies that their leaders are working together with good will and common purpose.

The summit provides you with an opportunity to demonstrate sensitivity to the problems of others and to exercise constructive American leadership, both to resolve current difficulties and to set positive directions for the future evolution of the international economy. Your leadership can help:

- to focus the meeting on priority problems, ensure that the discussions are oriented toward a long term view of major issues, and identify areas in which increased momentum in ongoing negotiations would be to the benefit of the industrialized democracies.

サミット予想と大統領の行動指針

サミット直前の11月12日付の大統領宛宛書。キッシンジャーら4人の連名で出されている。三木を含めた各国首脳の思惑を分析し、大統領がどう行動すればいいかを具申している。【第8巻197頁】

トップ会談やサミット参加の三木の目算

各国首脳との2国間サミットも想定し、国別のブリーフィングペーパーやトーキングポイントも準備していた。日本については、次の選挙に有利になるという三木の目算があると分析している。【第9巻46頁】

アメリカ合衆国対日政策文書集成
を推薦します(敬称略・順不同)

元国際教養大学理事長・学長(故人) 中嶋嶺雄 中央大学名誉教授 滝田賢治
立正大学特任教授 増田弘 立教大学教授 佐々木卓也

三木首相は選挙への思惑をよそに、「自由貿易こそが人類の福祉に貢献する」と力説